

キャラクター名
浅桜 千里

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハイロウ	ワークス	大学生	カヴァー	大学生
	エンジェルハイロウ				
オプション		年齢	19	性別	男
覚醒	忘却	衝動	妄想	初期侵食率	31 %
出自	義理の両親	経験	親友	邂逅	支部長

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	0	0	0	1		1	行動値	25
感覚	6	0	0		5	11	(非装備時)	25
精神	2	1	0			3	戦闘移動	30
社会	0	0	1			1	全力移動	60

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	6		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達	2	
運転:	2		芸術:			知識:	2		情報: 学問	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:うわさ話	4	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
財布	
スマホ	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費
藤咲 真尋 (親友)	P 幸福感	N 劣等感		
朝凧 紫苑	P 尊敬	N 不安		
早渡 詩乃	P 信頼	N 嫉妬		
マティス	P 信頼	N 隔意		
アミール・サレハ	P 信頼	N 恐怖		
楓	P 友情	N 不信任		
感覚の才-Gifted	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト	2		Xジャーアクション			シンドローム		
効果:								
光の弓	1	1	Xジャーアクション	視界		RC		
効果: 攻撃力+[LV+2]の射撃攻撃、同エンゲージ不可								
光芒の疾走	1	1	マイナーアクション	至近	自身	自動成功		
効果: 離脱可能、封鎖の影響を受けない。1シーンにLv回まで。								
主の恩恵	5	2	マイナーアクション	至近	自身	自動成功		
効果: エンジェルハイロウのエフェクトを組み合わせた判定のダイスを+LV個								
マスヴィジョン	3	4	Xジャーアクション			シンドローム	100↑	
効果: 組み合わせた攻撃の攻撃力を+[LV×5]1シナリオ3回まで								
主の右腕	5	2	Xジャーアクション			シンドローム		
効果: 組み合わせた攻撃の攻撃力を+[LV×2]する								
ピンポイントレーザー	5	2	Xジャーアクション			シンドローム		
効果: 組み合わせた攻撃は対象の装甲値を無視してダメージを算出する。ただし攻撃力を[5-LV]								
フラッシュゲイズ	3	3	オートアクション	視界	単体	シンドローム	80↑	
効果: 対象が判定を行う直前に使用する。その判定のダイスを-[LV×2]個する。								
スターダストレイン	5	6	Xジャーアクション	視界	シーン	RC		
効果: 攻撃の対象をシーン(選択)、射程を視界にする。攻撃力を[20-LV×5]1シナリオ1回まで								
破滅の天使	1	4	Xジャーアクション			RC	リミット	
効果: スターダストレインと組み合わせた攻撃は他のあらゆるエフェクトやアイテムの効果によって達成値を下げられず、失敗にもできない。								
光の手	1	2	メジャー			RC		
効果: 【感覚】で判定を行える								
希望の羽靴	1		常時	至近	自身	自動成功		
効果:								
繋がれた縁	1		常時	至近	自身	自動成功		
効果:								

浅桜 千里 (あさくら せんり) 19歳 大学生

両親が義理の両親であること以外は至って普通の大学生。
両親は自分が養子であるにも関わらず、何不自由なく育ててくれたことに感謝している。
それどころかやや過保護なくらいで、高校までは門限があった。
バイトなどしなくても困らないくらいのお小遣いをくれたり、何かと買いつけてくれたり金銭的にもやや甘やかしすぎなくらいがある。
そのため、金銭的に困っている同級生などに気安く着たりするが、嫌味に捉えられたり良いように使われたりすることがたまにあった。
しかし、親友だけはそのどちらでもなく、かつ負い目なども感じず真っ直ぐに好意として受け取ってくれた。そのような部分に好感を持っている。
両親が義理の両親であることを時も話した時も憐れみや同情などを向けなくてくれた。

本当の両親に対しては根んではいないが、忙しいと分かっていたのならなぜ自分を産んだのだろうと思っている。
それとも本当は何か自分に気に入らないところがあったのだろうか。
もしも会うことが出来たのならそれを聞きたい。

●【オリジナルDロイス: 感覚の才-Gifted-】
かつて人であった才能に恵まれた者がいた。
彼女は訪れる終末の中、人々の為に活躍した。
しかし、その終末は避けられず、ある人間の身代わりになって死んでしまう。
生き残った人々は天へ祈りを重ねたことで彼女を偉大な世界の管理者へと昇華させた。
「私は、守りたかったものの為に死んだのです。後悔はないとは言えませんが、それでも構わなかった。」

